国土交通省　東北地方整備局
青森河川国道事務所
Aomori office of river & National highway

記者発表
Press Release

国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所
令和　２年　８月２０日発表

道路整備事業の推進に顕著な功績を上げた団体を表彰
～道路功労者表彰伝達式を行います～

公益社団法人日本道路協会では、道路整備事業の推進ならびに道路愛護・美化保全等に尽力した団体および個人に対して、毎年８月１０日「道の日」に表彰を行っています。

この度、青森河川国道事務所管内の道路功労者として「雪みち観察会」や「バス停スコップ設置」の活動を行っている「あおもり雪国懇談会」が受賞決定となったため、表彰伝達式を開催します。

記

１　日　　時		令和　２年　８月２１日（金）　１３時３０分～
２　場　　所		新町キューブ３階「会議室」 青森県青森市新町２丁目６-２４
３　受　賞　者		あおもり雪国懇談会（青森市）

※令和２年度あおもり雪国懇談会総会の中で執り行います。

<発表記者会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社>

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
道路管理第一課長　　大舘（おおだて）　秀明（ひであき）
ＴＥＬ　０１７－７３４－４５７３（内線４３１）

令和２年度　道路功労者表彰伝達式

あおもり雪国懇談会

【功績概要】

青森市は、３０万人規模の都市では世界有数の豪雪地です。市内の除排雪や雪道は、整備等が十分ではなく、また住民においては道路に雪を出す行為などが見受けられます。生活と雪のかかわりは生涯にわたるものであり、除排雪マナーの改善に加えて、「克雪利雪」の対策なども重要です。あおもり雪国懇談会で行っている、「雪みち観察会」、「バス停スコップ設置」といった活動は、雪に対する市民の意識を高めることに大きく寄与しており、このような草の根的活動を継続していくことにより、雪への対応は行政と住民（市民）の共通課題であるという意識の醸成に繋がっています。

・雪みち観察会

青森市の策定したバリアフリー計画に基づき、国・県・市が行った青森市内の国道４号・７号の歩道融雪施設の整備に際して、平成１４年度から融雪歩道や通学路などを観察する「雪みち観察会」を開催し、観察会後は行政も参加した意見交換を行っています。

・バス停スコップ設置

平成１７年度から、「バス停オアシス化計画」として、バスの待ち時間に誰でもボランティアで雪片付けが出来るように、融雪歩道沿いのバス停にスコップを設置する活動を展開しています。令和元年度は、２つの小学校で出前授業を行い、スコップを設置する９箇所のバス停に掲示する雪かき啓発ポスターを描いていただきました。

※道路功労者表彰…公益社団法人　日本道路協会において昭和２６年より当表彰制度を設け、わが国の道路整備事業の発展に尽力された個人並びに団体の方々に対し、毎年８月１０日「道の日」に表彰を行っております。